

アガペ No.58

総主事
堤 弘雄

信じること祈ること

新年明けましておめでとうございます。いつもアガペをご覧いただきありがとうございます。今年もよろしくお願いたします。

さて、熊本YMCAでは多くの青少年が様々な学びをしています。私たちが子どもたちに関わる上で大切にしていることが3つあります。一つは、子どもたち一人ひとりの持つ可能性を信じることです。幼い子どもから青年まで、障がいのある無しに関係なく、すべての子どもたちの中に潜む可能性を信じながら関わり続けることです。もう一つは、彼らの中にある人格という小さな種の存在を信じて語りかけ続けることです。幼い子ども、引きこもりや反抗期にあって応答しない子ども、障がいがあるが応答できない子ども。そんな子どもたちの中に内在する人格という種に愛という水を注ぎ続けることです。長い年月をかけて注ぎ続けることによって、少しずつ小さな芽が育っていきます。経験上、たとえその時は芽を出さなくても5年、10年後には必ず芽を出してくれます。

目に見えない可能性を信じながら、目に見えない人格に語りかけ続けることは容易なことではありません。そこで大切にしている最後の一つは、子どもたちのために「祈ること」です。祈る相手は人間も含め自然界のすべてを創造し、いのちを与えたもう神です。なぜなら、神は人間にいのちを与える時に、何の意味もなく与えられないからです。一人ひとりにある役割(可能性)と共に「人格」を与えられていると信じているからです。考えてみると人間の存在は実に不思議です。地球が誕生して約46億年、哺乳類が誕生して6千万年、長い時の流れの中で今に与えられた尊い一人のいのち。だれにも代わることができない、一人のいのち。決して偶然ではない、神様の意図が託された尊い「いのち」だと思ふのです。そのような意味で、私たちに子どもたちの可能性を引き出す力と、人格に語りかける愛を与えてほしいと神に向かって祈り求めるのです。

クリスマスを祝い、いのちの尊さにふれる
市民クリスマス講演の夕べ



12月22日(水)、「こども・自然・いのち」をテーマに、くまもと県民交流館パレアホールで開催された市民クリスマス講演の夕べ。希望ヶ丘教会牧師の本堀秀一さんによるクリスマスメッセージの後、以前はYMCAのプログラムにも通い、昨年3月に熊本県立盲学校を卒業した飯島輪さんがクリスマスメドレーなど数曲をヴァイオリンで披露しました。

続く講演会はYMCAキャノン90周年を記念し企画さ



れ、元熊本県知事で、現在は長崎国際大学学長の潮谷義子さんが、「いのちにより添う」と題し講演。潮谷さんは、「愛のわざ」の重みにふれ、「少子高齢化が進む社会にあって、一人ひとりがあがまのいのちを愛し、他者のいのちの尊厳を考え、行動することが大切」と語りました。約160名の来場者は熱心に講演に耳を傾け、いのちにより添う生き方について考えるとともに、クリスマスをお祝い喜びを共有しました。

熊本・大邱^{テゲ}YMCA役員協議会
韓国大邱で開催

11月19日(金)から3日間、第17回熊本・大邱YMCA役員協議会が開催され、熊本からは会長の吉本貞一郎さん、常議員会議長の佐藤典子さん、常議員の田中俊夫さん、上村真知子さんと私、総主事の堤弘雄さんと副総主事の寺岡良男さんの7名が参加しました。

1日目、釜山経由で大邱に到着。その夜、さっそく心のこもった歓迎会が開かれ、久しぶりの再会を喜びながら遅くまで楽しい交流の時間を持つことができました。翌日はYMCA/YWCA合同祈禱会に参列した後、大邱YMCAで役員協議会が開催されました。

「YMCAの使命の再確認」心豊かな社会をつくるために「」をテーマに、熊本からは吉本さん、大邱からは副理事長のユン・ジェソップさんがそれぞれ発題。その後、全員が意見を話し合い、お互いのYMCAの置かれた状況や取り組みがよく理解できました。そして、お互いに目指しているものが「人間の回復、人と人との絆を強めていく」ことであると確認することができました。また、それは時代や国の違いを超えて、YMCAの創立者ジョージ・ウ

イリアムズが目指したものと相通じるものがあると感じました。最後に、大邱から「同じような課題と使命を抱えている熊本・大邱両YMCAは、共に協力して、課題に取り組み、行動し、状況を変えていきましょう」という力強い提案もなされ、短い時間でしたが、大変有意義な研修・協議ができました。協議会後は、慶州、釜山へと移動し、大邱の方々に素晴らしい世界遺産などを案内していただきました。



常議員 川上 安生

REPORT
Event

イエス降誕を祝うクリスマス
クリスマス行事が各YMCAで開かれました。



上通 YWCA



中央 YMCA



YMCA水前寺幼稚園



ながみねファミリー YMCA

子どもたちに
クリスマスプレゼント

11月に開催された、YMCAフィランソロピー協会主催のチャリティ大駅伝大会の益金をもとに、支援を必要とする子どもたちへクリスマスプレゼントが届けられました。22日(水)は、国立病院機構熊本医療センターで入院生活を送る子どもたちへ、サンタから玩具や日用品をプレゼント。また、25日(土)のクリスマスには、駅伝大会で優勝した企業2社が児童養護施設藤崎台学園と菊水学園の2カ所を訪問し、プレゼントが手渡されました。

